

「東京大学医療イノベーションイニシアティブ」オープニングシンポジウム を開催しました（2014年3月11日）

「東京大学医療イノベーションイニシアティブ」オープニングシンポジウム ～2014年4月開講「コアコース」のキックオフ～

医療の原点、および創薬・医療機器開発におけるイノベーション推進について考える



菅野武 先生



Dr. Ingrid Klingmann



Dr. Chris Shen

東京大学医療イノベーションイニシアティブでは、2014年4月の「コアコース」開講に先立ち、キックオフとしてオープニングシンポジウムを開催しました。当日は学内外より100名を超える方にご参加頂き、医療の原点および医療に貢献する創薬・医療機器イノベーションを如何に推進するかについて、活発なご議論及び本プログラムに対する期待やご意見を頂きました。

本プログラムの対象となる「医療」について、まずはその本質について考えるため、特別講演として、東日本大震災発生時に宮城県南三陸町の公立志津川病院にて急性期医療の対応にて多大なる貢献をされた菅野武先生にご登壇頂き、災害時医療のご経験および現場の課題についてご共有頂きました。

後半の基調講演では、本プログラムで目指す創薬及び医療機器におけるイノベーション創出人材養成に向けたテーマとして、海外における教育プログラム事例を2つご紹介頂きました。創薬に関しては、欧州GCPフォーラム会長のDr. Ingrid KlingmannよりEUにて標準化された創薬開発教育プログラムPharmaTrainについて、医療機器に関しては、Dr. Chris ShenよりSingapore Stanford Biodesign*について、教育プログラムの概要や現在の取り組みについて概要及びご経験を共有頂き、創薬・医療機器イノベーション創出に必要な要素について議論が行われました。

*Biodesignは、もともと米国Stanford大学において医学・工学・ビジネスの3つのスクールによるジョイントプログラムとして立ち上げられましたが、現在インドやシンガポールでも同プログラムが行われています。

主催：東京大学医療イノベーションイニシアティブ

本件に関するお問い合わせ先：

未来医療研究人材養成拠点形成事業

臨床発実用化マネジメント人材養成拠点

東京大学医療イノベーションイニシアティブ 事務局

TEL: 03-5841-0282 Email: mirai@mol.u-tokyo.ac.jp

講師案内

【特別講演】

菅野 武 先生

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学博士課程 / 元公立志津川病院内科医師

宮城県仙台市出身。自治医科大学医学部を卒業後、独立行政法人国立病院機構仙台医療センター、栗原市立栗原中央病院内科を経て、平成 21 年に公立志津川病院内科医長に着任。平成 23 年 3 月 11 日に、東日本大震災に被災。同年より東北大学大学院にて研究を続けながら、平成 24 年より丸森町国民健康保険丸森病院にて内科医長を務める。

(講演概要)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災、私は宮城県南三陸町の公立志津川病院で被災した。地震発生から 40 分ほどで 15m にも及ぶ津波が町を襲い、多くの患者やスタッフを一度に飲み込んだ。3 日間に渡り、食料も電気も医療資機材も無い中で患者と寄り添い支えあいながら過ごし、私自身最後のヘリで救出された。その急性期対応を受け、私は米 TIME 誌「2011 年世界で最も影響力のある 100 人」に選出された。この受賞は私個人の業績ではなく、日本人すべての苦難と闘いの象徴であると理解している。住処を奪われ、町は壊れ、友や家族が死に、仕事もコミュニティも無くなり、どれか一つでもライフイベントとして大きな出来事が一度に起きた。震災から 3 年、プレハブの仮設住宅が建ち、ある程度医療機関も再開できた地域が多い。しかし、復興というにはあまりに道のりは遠く、津波被害を受けた沿岸部はいまだ爆撃のあとの焼野原のようだ。インフラ整備、土地建物はやがては戻るだろう。医学をはじめ多くの研究もなされつつあり、次の減災を目指している。けれど、私達自身がこの体験を乗り越える日はいつであろうか。

震災直後の体験。救出されてから再び南三陸町に戻り、世界中からの支援を受け、多くの医療支援チームとつながりながら残された命をつないだ経験。そして仙台に戻ってからこの 3 年間伝えてきたこと。大きな悲しみや、避けられない困難の中で、人は何を思って過ごしどう打ち勝とうとしているのか。その究極の形として、理不尽に命や生活が奪われた震災という出来事がある。私達が進む心の復興の道のりは、すべての人にとって苦しみを乗り越えるきっかけとなれるかもしれない。それこそが、今を生きる者が次に伝えるべきことではないか。それぞれ自分に何が出来るのか、それを考える一助となれば幸いです。

【基調講演】

Dr. Ingrid Klingmann

Chair of the Board, European Forum for Good Clinical Practice (EFGCP)

She studied medicine in Germany and specialized in General Medicine, Clinical Pharmacology and Pharmaceutical Medicine.

After having joined pharmaceutical industry as medical advisor, she held senior management positions in different international contract research organizations and was responsible for operational, scientific, regulatory and business aspects of international clinical research projects from Phase I to Phase IV.

Since January 2003 she has her own pharmaceutical development and site management support consulting company.

From January 2004 to July 2007 she was also CEO of two investigative sites in London, UK, performing clinical trials in acute and chronic pain as well as musculo-skeletal diseases.

She is a founding member and currently Chairman of the Board of the European Forum for Good Clinical Practice (EFGCP) as well as Co-Chair of the EGAN/EFGCP Working Party "Patients' Roadmap to Treatment".

Dr. Klingmann chairs the clinical research module of the post-graduate Master in Regulatory Affairs course at the University of Bonn, Germany and the Diploma Course on Clinical Trial Practices and Management at the University of Basel, Switzerland.

Dr. Chris Shen

Executive Director, Singapore-Stanford Biodesign

Christopher Shen, MD is a Principal at Essex Woodlands Health Ventures, one of the largest healthcare-focused venture capital and private equity firms. Dr. Shen specializes in investments in biopharmaceutical and medical device companies. Prior to joining EWHV, he worked at New Enterprise Associates, one of the largest, diversified venture capital firms. Previously, Dr. Shen held the position of Senior Design Engineer at Guidant Corporation's Neurovascular Venture, an internal start-up, where he invented and commercialized a minimally-invasive therapy for the treatment of acute ischemic stroke. Dr. Shen also worked in Japan as a Design Engineer for Pfizer, Inc.'s Strategic Innovation Group, an internal medical technology incubator.

Dr. Shen is the U.S. Executive Director of the Singapore Stanford Biodesign Program and a Consulting Assistant Professor of Medicine at Stanford University, teaching courses on medical technology innovation. He has nine patents issued and several pending in the fields of interventional neuroradiology and interventional cardiology.

Dr. Shen received his Doctor of Medicine from the Stanford School of Medicine, his Master of Business Administration from Stanford Graduate School of Business, and a Master of Biomechanical Engineering from the Stanford School of Engineering. He received his Bachelor of Science in Biological Sciences from Stanford University.

未来医療研究人材養成拠点形成事業

『東京大学 医療イノベーションイニシアティブ』

オープニングシンポジウム

4月から開催する『東京大学 医療イノベーションイニシアティブ』
コアコースに向けたキックオフとして、外部講師を招いたシンポジウムを開催致します。

2014年
3月11日(火)
18:00 - 21:00
開催

開催場所

鉄門記念講堂（東京大学医学部教育研究棟 14 階）
懇親会場「カポ・ペリカーノ」（同 13 階）

対象者

学部生および大学院生（東京大学および他大学の学生）、研修医、
医療専門職、医療産業に係る社会人

受講者
200人
無料
(事前登録制)

プログラム

18:00-18:05	【開会の辞】	門脇 孝 東京大学医学部附属病院 病院長
18:05-18:10	【ご挨拶】	袖山 禎之 文部科学省 医学教育課長
18:10-18:20	【プログラム紹介】	木村 廣道 特任教授 拠点形成事業責任者
18:20-18:50	【特別講演】	菅野 武 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学博士課程 / 元公立志津川病院内科医師 講演タイトル：今を生き、明日へとつなぐ～東日本大震災の経験を通して
18:50-19:00	休憩	
19:00-19:55	【基調講演】	Dr. Ingrid Klingmann Coordinator, PharmaTrain, Chair of the Board, European Forum for Good Clinical Practice
19:55-20:50	【基調講演】	Dr. Chris Shen Executive Director, Singapore-Stanford Biodesign
20:50-21:00	【閉会の辞】	松本 洋一郎 東京大学 副学長



菅野 武 先生

※終了後懇親会
懇親会は有料です。

特別講演では、菅野武先生にご登壇いただきます。菅野先生は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災発生当時、宮城県南三陸町の公立志津川病院に勤務されており、その当時の急性期対応により、米 TIME 誌「2011 年世界で最も影響力のある 100 人」に選出されました。菅野先生に、3 年前の東日本大震災から現在に至るまでの思いとともに医療の原点についてお話しいただきます。基調講演では、EU から Dr. Ingrid、US から Dr. Shen に来日いただき、それぞれ EU および US (Stanford University) における医薬・医療機器イノベーションに資する人材の育成プログラムとご経験をお話しいただきます。海外における医療イノベーション人材の教育を軸に、医療産業イノベーションに必要な要素について活発に議論ください。

*東京大学 医療イノベーションイニシアティブとは、トランスレーショナルリサーチに関わるマネジメント能力の養成を目的とし、特にメディカル・イノベーションへ貢献しうる医療マネジメント人材を育成するプログラムです。

お申込み

Webサイトからお申し込みください。

<https://plaza.umin.ac.jp/~mirai/ctl/gate.php/entry/top/>

※MyPage経由でもお申込み頂けます: https://www.ptsc.jp/my.mirai/seito_login/

未来医療研究人材養成拠点形成事業事務局

東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学薬学系研究科 ファーマコビジネス・イノベーション教室内
(薬学部本館西 308 号室)
TEL: 03-5842-5678 Email: mirai@mol.f.u-tokyo.ac.jp

お問い合わせ